熱血

野町まさき



高知家 高知県議会

2016 平成28年12月

県政レポート Vol.3



９月定例県議会 一般質問の詳細

ごあいさつ

高知県議会議員の野町まさきでございます。

私も県議会議員となり、早いもので1年8ヶ月が経ちました。本年4月からは、危機管理文化厚生委員会の副委員長として、南海トラフ地震対策や芸術･文化の振興、海外との交流促進、そして、医療･福祉の分野に関する県の取り組み等について、日々勉強させていただいております。この間、私も県議会議員として一生懸命に活動して参りましたが、まだまだ新米議員でもあり、戸惑うことが多い中、皆さま方からの温かい励ましの言葉や時には厳しいお叱りもいただくなど、多くのご示唆に大変励まされております。このことに対しまして、紙面をお借りし改めてお礼申し上げます。

9月定例県議会の本会議では、自身2回目となる一般質問（一問一答形式）に立たせていただき、新風･くろしおの会の代表として、地域の皆さまの声を県議会に届けました。遅くなりましたが、今回の県政レポートでは、9月議会での質問内容を中心にご報告させていただきます。まだまだ未熟ではありますが、皆さまのご期待に沿うよう誠心誠意努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



台風被害状況調査［安芸市下山］
（平成28年9月）

平成28年12月　野町　雅樹

南海トラフ地震･津波対策について

■野町議員



目前に迫った「世界津波の日･高校生サミット」の開催が本県にもたらす効果と本県のトップとしての知事の決意について問う。

■知　事

「世界津波の日･高校生サミット」が黒潮町で開催をされることとなったことは、黒潮町の皆さんが防災の面において先進的な取り組みをしておられるその結果だと考えており、黒潮町の皆さんの取り組みに心から敬意を表したいと思います。また本県といたしましても大変誇らしいことだと思っています。

このサミットは、将来の防災リーダーの育成、防災の繋がりの輪の世界的な広がり、県民の皆様の防災意識の向上を初めとした啓発、さらに、高知観光の魅力を積極的に世界にPRするための好機でもあると考えています。非常に有意義な大会だと考えており、国、黒潮町の皆さん等の御協力をいただき、この大会を何としても成功させたいと考えています。

■野町議員

私は熊本地震発災後の5月に避難所でのボランティア活動、また8月には発災から5年を経過した東日本大震災の被災地を訪問、その現場を体感し、被災者の方々などから貴重な体験談を聞く機会があった。そこで、県内の自主防災組織の活動の現状と県民の皆さまの防災意識向上に対する県の支援について問う。


熊本市内の避難所（平成28年5月）


東日本大震災の記録を展示する宮城県の
リアス・アーク美術館（平成28年8月）


熊本地震現地調査報告会の講師の皆さん
安芸市自主防災組織連絡協議会（平成28年6月）

■危機管理部長

自主防災組織の組織率は、18の市町村で100%、県全体でも90%を超え、毎年上昇しています。学習会や訓練の実施、資機材の整備などは多くの市町村で県の支援制度を活用・実施し、その活動は広がりつつありますが、役員の高齢化や訓練等への参加者の固定化、マンネリ化など、多くの組織に共通する課題も認識しています。今後も財政的支援・啓発・研修会の開催などへの支援の充実を図ります。今年度は特に実践的活動をまとめた事例集の改訂を行う予定です。また、南海トラフ地震対策推進地域本部やこうち防災備えちょき隊が学習会の講師や訓練へのアドバイスを行うなど、県民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化に取り組みます。

■野町議員

地域の防災リーダーの育成や防災意識の向上には小さいころからの防災教育が重要であると考えるが、本年3月に策定した、第2期高知県教育振興基本計画における学校での防災教育の位置づけについて問う。


黒潮町で開催された
「世界津波の日・高校生サミット」
（平成28年11月）



■教育長

第2期の高知県教育振興基本計画では、南海トラフ地震等の災害に備えた取り組みの推進を明確に示し、全ての公立学校で災害から子供たちの命を守り抜くため、施設の整備や防災教育の推進に取り組んでいます。公立学校では、防災に関する授業を小中学校で年5時間、高等学校で3時間以上行うほか、全ての学校で避難訓練を年3回以上行い、子供たちの防災対応力の向上や教職員の危機管理能力、防災力の向上を図っています。

■野町議員

東日本大震災の「釜石の奇跡」に代表されるように、学校での防災教育の徹底が多くの子供たちの命を救うのと同時に、その子供たちの行動が地域の住民、大人の防災意識をより高め、命を救うといったことも被災地から学ぶべき教訓ではないかと思うが、特に津波浸水区域での学校における防災教育において「津波てんでんこ」など、先の震災の教訓をどのように生かし、家庭や地域との連携をどう充実させていくか問う。


市立安芸中生徒会との意見交換（平成28年8月）

■教育長

高知県安全教育プログラムには東日本大震災の教訓から、津波からの避難は、まず揺れから身を守り、自ら判断して一番近い高台へ避難することを示しており、いつどこにいても、一人でも必ず逃げるという家族との約束を含めた「津波てんでんこ」や津波避難三原則『想定にとらわれるな』『率先避難者たれ』『最善を尽くせ』を指導し、保護者や地域の方々が共有し、ともに適切な避難を行えるように日ごろから取り組むことが重要と考えます。
先進的な防災教育の実践校では、保護者や地域住民、地域の防災関係機関と連携した防災学習や合同避難訓練などを実施、こうした取り組みや研修会を通じて県内の学校へも広げ、家庭や地域との連携強化を図ります。

■野町議員

防災教育は子供たちが、自分の命を守り切る力を身につけることだけにとどまらず、地域の人を知り、地域の自然やその恵み、逆にその脅威について体感する、また学習することで郷土への愛着あるいは責任感といった心を育む大変すばらしい教育である考えている。防災をキーワードに学校と地域社会の交流が益々進んでいくことを期待している。

■野町議員

将来の防災リーダーの養成という観点から「世界津波の日・高校生サミット」は、絶好の機会と考えるが、県内の参加校6校以外の高校生の参加ついて問う。

■教育長

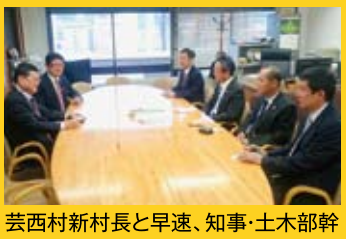
本県で開催されることは、次代を担う高校生が防災について自分たちが主体的にどう取り組むかを学び、国際的な視野を持つことができる機会だと思います。サミットには海外29カ国、国内39校が参加、県内からは県立学校4校、私立学校1校、議長を務めるホスト校の大方校が参加します。参加校は防災を通じた地域づくりや啓発活動の発表などの準備を進めており、大方高校では2名がサミット議長を務めるなど、生徒も大会運営に関るようになっています。他の学校にも参加の案内をし、会場でさまざまな国の高校生が防災について英語で発表し、意見交換しているのを見学することにより国際的な視野の広がりや防災意識の向上に繋げたいと考えます。

熱血 尾﨑県知事や県幹部に地域の皆さんと連携して陳情!


安芸市長らと知事への陳情
（平成28年7月）

関係者のご努力で高知東部自動車道整備に補正予算41億円が配分!


安芸郡・海部郡議長連合会の
道路整備要望（平成28年10月）


芸西村新村長と早速、知事・土木部幹部への要望（平成28年11月）




芸西村竹内前村長、本当にお世話になりました。

熱血 地域の皆さんのご要望・生活相談に対応しています!

住民の皆さんのご要望を受け、現地確認後、各行政機関などと連携しています。


土砂崩れ復旧［安芸市川北］


JA土佐あき幹部と東部3県議との
面談（平成28年8月）


平成26年豪雨により故障していた農業用揚水ポンプが復旧
赤野揚水ポンプ施設
（平成28年8月）


各地で進む土地基盤整備
［安芸市穴内］


南国安芸道路野市出口の右折
車線の複線化（平成28年11月）

次世代園芸農業の推進について

■野町議員

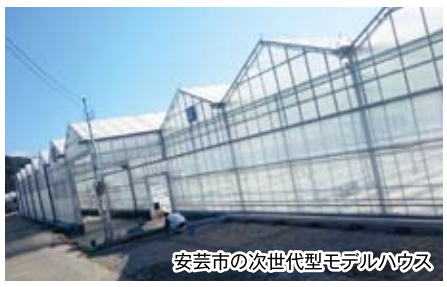
3月に完成した四万十町の次世代施設園芸団地は、尾﨑知事からの政策提言により農業強化策、また地方創生の起爆剤の一環として、国内外から注目を集める取り組みであるが、当トマト団地の現状と今後の課題について問う。

■農業振興部長

7月中旬に4.3ヘクタールの施設に約5万本のトマトを植えつけ、9月上旬から収穫を開始しています。現在、収穫量が日量4トン程度で生産も安定してきました。当面の課題は、作業員全体の栽培管理技術の底上げを図ること、雇用の確保を図ることです。まだ若干不足しているため、ハローワークを通じて説明会を開催し、確保に努めます。

■野町議員

当事例に続く企業誘致も含めた県内での次世代型ハウスの導入実績、計画等について問う。


安芸市の次世代型モデルハウス


芸西村の次世代型モデルハウス

■農業振興部長

概ね50アール以上の次世代型ハウスの導入実績は、安芸市や南国市など5カ所でピーマンやメロンなど約2.3ヘクタールのハウスが整備済みです。順調に生産も始まり、ハウスを学び教え合う場として活用し、優れた成果を農家の皆さまに実感をしていただけるよう取り組みます。今後は南国市のJA出資型法人がパプリカとピーマンで、香南市の生産者はニラで規模拡大を進めます。安芸市では全農がナスで、日高村では県外企業がトマトで、地域と協働した新たな農業参入の取り組みを計画中です。

■野町議員

安芸市に誘致された全農の「安芸営農実証支援施設（仮称）」への県の支援策について問う。

全農による1ヘクタールの次世代型ハウス整備を開始!


安芸営農実証支援施設（仮称）の起工式にて
安芸市長、県農業振興部長と（平成28年10月）

■農業振興部長

次世代型ハウスでは、ナスの土佐鷹を高軒高の施設で、地域の平均収量のおよそ2倍の30トンの収量を目指して取り組んでいます。平成29年4月の完成、8月からの栽培開始に向け、雇用対策や周辺対策などに安芸市やJAと取り組んでいきます。全農の持つ栽培のノウハウと県の農業技術センターが開発した環境制御技術を融合させた日本初の栽培技術を実証することとなっています。県では、栽培開始に向け専門の技術者チームが全農と連携、栽培の開始後も定期的に検討会を開き、取り組みを継続し、確立された技術の普及や地域農業の活性化に繋げます。

県、村の補助金を活用した新ナス選果選別機が稼働!


JA芸西集出荷場
（平成28年10月）

■野町議員

この施設は、県東部のナス含めた園芸産地の技術力向上にとっても大変重要な施設であり、積極的な県の支援を期待する。

ユズの生産拡大への支援策について

■野町議員

日本一のユズ産地の生産量を維持拡大し、実需者への安定的な供給を行うため、三原村や北川村等でも産地の生き残りをかけた生産拡大への取り組み見られるが、県の一歩踏み込んだ支援策について問う。


早摘みゆず収穫祭（平成28年10月）

安芸ユズ集出荷場・加工場の高台移転を検討中!



■農業振興部長

ユズの生産拡大の課題は、生産者の高齢化に加え、ユズの木そのものの高樹齢化による生産性の低下、園地が小規模で急傾斜地のため作業効率が悪いことなどが上げられます。まずは生産性の高い優良系統への改植、新植を進めることが重要で、優良系統の苗木の安定的な確保のため、本年度から各産地で母樹の育成を開始しました。小規模で急傾斜地にある園地での基盤整備を行い、省力化機械が導入できる生産効率の高い優良園地への転換が必要です。県はユズ産地の強化を目指した三原村·北川村等の取り組みに推進チームを編成して県全体の底上げを図ります。

■野町議員

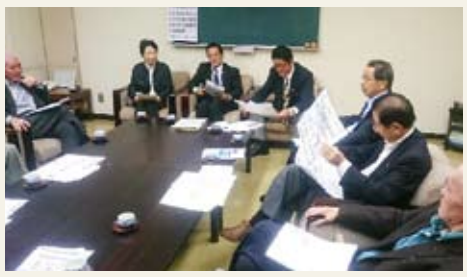
ユズは本県中山間地域の生命線と言っても過言ではない品目である。全国のユズ産地をリードできるのも高知県だと考えている。平成31年には県内のJA統合も予定されており、青果は勿論、ユズ果汁等の1次加工品も高知県産品ブランドとして集約、新たな販売戦略が求められる。県の積極的な支援をお願いする。

熱血 県政報告会を開催しました!

今年7月12日に、地元安芸市穴内において県政報告会を開催しました。会場には60人以上の地域の皆さま、また、来賓として同会派で黒潮町選出の下村県議にも参加いただき、生まれ育った地元の皆さまを中心に和気あいあいとした和やかな報告会となりました。この他、安芸市議会議員やOBの皆さまとの勉強会、安芸市自主防災組織連絡協議会等での熊本地震現地調査報告会、さらに、安芸市川北、伊尾木、東川、芸西村等、各地区での集会に参加するなど随時活動報告をしています。その中で、いただいた貴重なご意見やご要望については真摯に受け止め、しっかりと対応させていただいております。




安芸市穴内地区県政報告会（平成28年7月）


安芸市議会OB会（平成28年11月）

熱血 多くの地元イベントに参加させていただきました!


芸西村竹明かりの宵
（平成28年10月）


じゃこサミット入賞者の皆さんと
（平成28年10月）


安芸郡市老人クラブ連合会·
体育大会（平成28年10月）


安芸市奈比賀地区の10円喫茶


平成鷹の子書展（平成28年11月）
［安芸市立書道美術館］

常任委員会活動報告

所属／危機管理文化厚生委員会

多くの議案の審議を本会議で一度に全て行うことは困難です。そこで本会議の議決に先立ち、専門的かつ詳細に審査する委員会の場を設けています。常任委員会は常時設置している委員会で、本会議から送付された議案や請願などを審査します。また、出先機関や現場に行って、市町村さんや関係者の方々から直接お話をお伺いします。



危機管理
文化厚生委員会



議員定数問題等
調査特別委員会



議長先進地調査
［津波シェルター］



出先機関調査
［安芸総合病院］（平成28年6月）



出先機関調査
［南海トラフ地震対策推進中央西地域本部］
（平成28年7月）



出先機関調査
［高知ふくし交流プラザ］
（平成28年7月）





福祉機器を体感
（平成28年7月）



出先機関調査
［高知城歴史博物館］
（平成28年7月）



津波シェルター落成式
［室戸市津呂］
（平成28年8月）



委員会県外調査
［三重県総合博物館MieMu］
（平成28年8月）

活動報告 平成28年8月▶10月

地域周りでは、安芸市・芸西村の住民の皆さんの声をお聞きするとともに、ご要望についての現地確認などに出向いています。

8月 August

1月	地域周り	17水	バイオマス発電に関する意見交換 南海トラフ地震対策推進 安芸地域本部との面談
2火	議事堂控室 （地域福祉部、県警との面談） 常任委員会（とりまとめ）	18木	安芸農改、安芸土木との面談 高知県旅館ホテル生活衛生 同業者組合との懇談会
3水	安芸ロータリークラブ例会（活動報告） 自衛隊高知駐屯地納涼祭	19金	安芸全国書展高校生大会表彰式 安芸中学校開かれた学校 推進委員会
4木	看護師確保に関する意見交換 議事堂控室 （健康政策部との面談）	20土	休暇
5金	農業大学校との意見交換 安芸市長との面談	21日	安芸事務所 県政報告資料作成
6土	地域周り 安芸納涼市民祭式典	22月	伊尾木地区自主防災組織役員会 （県政報告）
7日	安芸納涼市民祭 地域周り	23火	議員定数問題等調査特別委員会 議事堂控室 （農業振興部、林業振興部との面談）
8月	高知大学農学部学部長との 意見交換 ミニ県政報告会（川北）	24水	地域周り
9火	よさこい祭り 議事堂控室 （危機管理部との面談）	25木	室戸市津呂津波シェルター落成式 県職員OB会との懇談会
10水	高知農業高校同窓会 安芸支部総会	26金	農林水産省研修生の現地調査 同行（農業技術センター、 四万十町次世代園芸団地）
11木	安芸商い甲子園 オープニング式典	27土	こうち防災危機管理展2016 （オープニングセレモニー・ 3.11を忘れないでパネル展）
12金	あったかふれあいセンター創業祭 地域周り	28日	こうち防災危機管理展2016 （3.11を忘れないでパネル展）
13土	地域周り	29月	議事堂控室（農業振興部との面談） JA土佐あき役員と 東部3県議との面談
14日	奥四万十博、 中土佐町久礼避難タワー見学	30火	常任委員会県外調査 （岐阜・三重県）
15月	地域周り 農業技術センターとの意見交換	31水	↓
16火	地域周り 議事堂控室 （農業振興部との面談）		

9月 September

1木	常任委員会県外調査 （京都・和歌山県）	17土	敬老会（東川、井ノ口）
2金	地域周り 安芸事務所（議会質問準備）	18日	敬老会（奈比賀） 地域周り
3土	安芸事務所（議会質問準備）	19月	安芸漁協役員と中西祐介参議院議員との意見交換会 敬老会（芸西村、内原野団地、土居、安芸町） 自衛隊協力会懇談会
4日	海外出張（フィリピン） INAP・経済ミッション	20火	地域周り（台風警戒）
5月	※INAP（イナップ）とは 友好提携港国際ネットワーク の略称	21水	議会運営委員会、議案会派説明 議事堂控室（県警との面談） 有機農業に関する面談
6火		22木	体育祭に参加 （安芸中、清水ヶ丘中） 桜ヶ丘高校開発ラーメン試食会
7水		23金	休暇
8木		24土	運動会に参加 （安芸第一小、井ノ口小、芸西小） 地域周り
9金	安芸市早起きソフト閉会式 じゃこサミット試食会 高知農業高校開校記念行事	25日	敬老会（赤野、栃ノ木）
10土	敬老会（川北、伊尾木） 穴内漁協恵比寿神社落成式	26月	安芸事務所（議会質問準備）
11日	休暇	27火	各派代表者会議 安芸漁協県要望 議事堂控室（議会質問準備）
12月	9月議会議案説明会 議事堂控室（県警との面談）	28水	**9月議会開会** 常任委員会（正副委員長打合せ）
13火	看護学校設置に関する意見交換 バイオマス発電に関する協議	29木	議案精査 議事堂控室（議会質問準備）
14水	敬老会（畑山） 安芸事務所（面談2件）	30金	議案精査 議事堂控室（議会質問準備）
15木	敬老会（下山） 安芸市長、JA組合長との面談		
16金	地域周り 農政要望に関する執行部との協議 子育て懇談会		

10月 October

1土	安芸事務所（議会質問準備）	17月	常任委員会（とりまとめ） 果樹試験場訪問（ゆず振興）
2日	安芸事務所（議会質問準備） 運動会に参加 （穴内小、地区民）	18火	議案整理 地域周り
3月	一般質問 各派代表者会議	19水	**9月県議会閉会** 議会運営委員会 議員定数問題等調査特別委員会
4火	一般質問 議会運営委員会	20木	芸西村長との面談 安芸事務所（市議会議員との面談） 安芸市木曜会（市長主催）
5水	一般質問	21金	全農次世代型ハウス起工式 高速道路促進地域協議会（穴内）
6木	↓	22土	地域周り
7金	**一般質問**（一問一答で登壇）	23日	↓
8土	高知東部海岸グルメまつり オープニングセレモニー 運動会に参加、穴内保育所	24月	議事堂控室（土木部との面談）
9日	全国ご当地じゃこサミット	25火	地域周り
10月	黒潮町防災訓練（DIG）	26水	安芸市新火葬場火入れ式 安芸事務所（市会議員との面談）
11火	一般質問（一問一答） 議会運営委員会	27木	龍馬記念館祈願祭 四国8の字ネットワーク 整備促進大会
12水	議会運営委員会 常任委員会	28金	安芸郡・海部郡議長会の 道路整備要望 地域周り
13木	地域周り	29土	海外出張（韓国） 全羅南道との姉妹交流協定 締結、経済ミッション
14金	議案精査 安芸郡市老人クラブ体育大会 常任委員会（正副委員長打合せ）	30日	↓
15土	県農業関係職員OB会 中谷前防衛大臣慰労会	31月	↓
16日	早摘みゆず収穫祭 竹明かりの宵		





こうち防災危機管理展2016での
パネル展（3.11からのメッセージ展）



フィリピンでのINAP総会と
防災関連産業の経済ミッションに参加



各地の敬老会に参加



各地の小中学校の運動会に参加



高知県、韓国全羅南道の
両知事による姉妹交流協定調印



Information
野町（のまち） まさき
県政事務所
新風・くろしおの会
安芸事務所　〒784-0022 安芸市庄之芝町1-52
TEL & FAX 0887-37-9781
E-mail nomachikoenkai@outlook.jp
facebook
野町雅樹
で配信中

本議会、常任委員会、特別委員会、予算委員会は特別の場合を除き、どなたでも傍聴できます。
高知県議会 検索 http://www.pref.kochi.lg.jp/~gikai/